

調査の概要

1. 調査の目的

県内景気の動向や各業種の状況をより迅速に把握し、景気判断の基礎資料とする。

2. 調査の実施概要

(1) 調査の範囲

県内を福井地区、坂井地区、奥越地区、丹南地区、嶺南地区の5地区に分け、各地区で働くさまざまな業種の方、100名を調査客体とする。

地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計動向	企業動向	雇用情勢
福井	福井市	39	21	13	5
坂井	坂井市、あわら市	14	8	6	0
奥越	大野市、勝山市	10	5	3	2
丹南	鯖江市、越前市とその周辺部	17	7	8	2
嶺南	敦賀市、小浜市とその周辺部	20	10	6	4
	計	100	51	36	13

(2) 調査事項

- ① 3か月前と比べた景気の現状判断とその理由
- ② 2～3か月後の景気の先行き判断とその理由

(3) 調査期日等

毎月中旬～下旬に調査実施し、月末～翌月初旬に公表。

3. DI値の算出方法

5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じて、DI値を算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

4. DI値について

DI値が50の場合は横ばいを示し、0に近づくほど悪化傾向、100に近づくほど好転傾向であることを示す。

0 ← 50 → 100
悪くなっている 変わらない 良くなっている

調査結果

1. 景気の現状判断DI

今月の現状判断DIは、42.9となり、前月に比べ1.7ポイント低下した。

○家計部門では、小売、飲食、サービスの全てが低下したため、前月に比べ3.5ポイント低下した。

○企業部門では、製造業、非製造業ともに上昇したため、前月に比べ1.6ポイント上昇した。

○雇用部門では、前月に比べ3.7ポイント低下した。

「良くなっている」との回答が減少し、「変わらない」「悪くなっている」との回答が増加した。

○県全体の現状判断DI

(DI)	年 月	H23 9	10	11	12	H24 1	2	(前月差)
合計		46.2	45.6	45.1	44.7	44.6	42.9	▲1.7
家計動向関連		42.2	45.5	47.0	44.3	45.5	42.0	▲3.5
小売		38.6	41.4	45.6	44.1	45.7	42.9	▲2.8
飲食		56.3	50.0	62.5	41.7	31.3	25.0	▲6.3
サービス		47.9	56.8	45.8	45.5	50.0	43.8	▲6.2
企業動向関連		48.5	42.6	39.7	43.4	39.3	40.9	+1.6
製造業		49.0	40.0	37.5	43.0	42.3	43.8	+1.5
非製造業		47.2	50.0	45.0	44.4	30.6	33.3	+2.7
雇用関連		55.8	54.2	51.9	50.0	55.8	52.1	▲3.7

(参考) 内閣府「景気ウォッチャー調査」(12月調査結果)
現状判断DI 47.0

○回答別構成比

	年 月	H23 9	10	11	12	H24 1	2	(前月差)
良くなっている		0.0%	0.0%	1.0%	1.0%	2.0%	0.0%	▲2.0
やや良くなっている		16.3%	14.6%	15.5%	14.7%	17.3%	13.7%	▲3.6
変わらない		56.1%	56.3%	48.5%	49.5%	45.9%	47.4%	+1.5
やや悪くなっている		23.5%	26.0%	33.0%	31.6%	26.5%	35.8%	+9.3
悪くなっている		4.1%	3.1%	2.1%	3.2%	8.2%	3.2%	▲5.0

2. 景気の先行き判断DI

今月の現状判断DIは、46.6となり、前月に比べ5.0ポイント上昇した。

○家計部門では、飲食が低下したものの、小売やサービスが上昇したため、前月に比べ8.0ポイント上昇した。

○企業部門では、製造業は低下したものの、非製造業が上昇したため前月に比べ0.9ポイント上昇した。

○雇用部門では、前月に比べ4.0ポイント上昇した。

「良くなる」「変わらない」との回答が増加し、「悪くなる」との回答が減少した。

○県全体の先行き判断DI

(DI)	年 月	H23 9	10	11	12	H24 1	2	(前月差)
合計		45.7	44.0	43.3	41.8	41.6	46.6	+5.0
家計動向関連		44.1	46.0	45.0	44.3	41.5	49.5	+8.0
小売		42.9	46.4	45.6	41.9	42.1	51.4	+9.3
飲食		43.8	31.3	37.5	41.7	31.3	25.0	▲6.3
サービス		47.9	50.0	45.8	52.3	43.2	50.0	+6.8
企業動向関連		44.9	40.4	37.5	36.8	39.3	40.2	+0.9
製造業		45.0	39.0	35.4	37.0	42.3	41.7	▲0.6
非製造業		44.4	44.4	42.5	36.1	30.6	36.1	+5.5
雇用関連		53.8	45.8	51.9	46.2	48.1	52.1	+4.0

(参考) 内閣府「景気ウォッチャー調査」(12月調査結果)
先行き判断DI 44.4

○回答別構成比

	年 月	H23 9	10	11	12	H24 1	2	(前月差)
良くなる		0.0%	0.0%	0.0%	2.1%	0.1%	0.0%	▲0.1
やや良くなる		13.3%	11.5%	16.5%	3.2%	13.3%	18.9%	+5.6
変わらない		59.2%	55.2%	43.3%	61.1%	44.9%	52.6%	+7.7
やや悪くなる		24.5%	31.3%	37.1%	27.4%	32.7%	24.2%	▲8.5
悪くなる		3.1%	2.1%	3.1%	6.3%	8.2%	4.2%	▲4.0

3. 判断理由

(1) 景気の現状判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
②やや良くなっている	家計動向	福井	自動車整備	・エコカー減税と補助金のため、しばらく良い状況が期待できる。
	企業動向	坂井	繊維	・2月、3月は春物や夏物の生産のピーク時期である。
		福井	繊維	・3ヶ月前位から受注状況が好転してきており、今月も続いている。
		奥越	電気機械	・海外受注が少し増えて来ている。
	雇用	嶺南	労働相談員	・12月の敦賀の有効求人倍率と新規求人倍率は前年同月を上回った。 ・一方、小浜は有効求人倍率が前年よりやや低下し、新規求人倍率は昨年と同じだった。
③変わらない	家計動向	丹南	商店街	・特に変化ない。
		丹南	小売店	・地場産業が依然として低調であり、客単価が低い水準が続いている。
		丹南	小売店	・来客数が少なく、自動販売機の売上も上がらない。
		福井	百貨店、ショッピングセンター	・販売額、客単価の前年比がほぼ横ばいで推移している。
		福井	百貨店、ショッピングセンター	・特に大きな変化はない。
		嶺南	スーパー	・一品当たりの単価が減少しているため、前年並みの売上が確保しにくい。
		福井	大型小売店	・販売量が増えていない。
		嶺南	コンビニエンスストア	・客単価の減少傾向が続いている。
		嶺南	ドライブイン	・改善は見られない。
		福井	駐車場	・利用者台数、収入ともに昨年同期に比べて減少している。 ・景気はやや上向き傾向とあるが、依然として円高、株安、増税感等上向き材料が乏しく、先行きは不透明である。
		福井	結婚式場	・新規の客の動きが悪く、昨年対比で売上が2割減少している。
		福井	ビジネスホテル	・動きはやや良い傾向にあるが、低価格路線からはまだ抜け出せない。
	福井	旅行代理店	・当月の受注額および客数はやや良くなっている感はあるが、全体的には変わっていない。	
	福井	旅行代理店	・西日本全体では、販売高で前年を上回ってきているようだが、福井ではまだ上向きが感じられない。	
	企業動向	福井	一般機械	・需要自体は内外ともに相応であるが、円高の影響も色濃い。 ・国内では大手の決算速報で下方修正が相次げば投資マインドは更に冷え込む。
		福井	一般機械	・受注量や販売量の動きに変化がない。
		丹南	電気機械	・一部の製品では受注が増加してきたが、全体的には12月～1月を底にして受注の回復には至っていない。
		福井	化学・プラスチック	・住宅資材は相変わらず低迷している。 ・産業資材はタイの洪水の影響で、国内生産にシフトしているメーカーもあり、一部の製品は受注増になっているが、全体の量は変わらない。
		丹南	鉄鋼	・受注量の動きに変化がない。
		丹南	伝統工芸	・原料の販売量等に変化がない。
		丹南	伝統工芸	・受注量に変わりがない。
		嶺南	商社	・取引先からの受注量に変化がない。
		奥越	食料品製造	・売上が上がっていない。
福井		IT関連	・受注量の動きに変化がない。	
福井		金融機関	・一部好転は見込まれるものの、全体的な景気好転にはなっていない。	
坂井	建設業	・受注の見通しがつかない。		

③変わらない	雇用	奥越	自治体労働政策担当課	・北陸管内では持ち直していると聞かすが、実感として変化はない。
		丹南	自治体労働政策担当課	・求人等の動きが変わらない。
		福井	労働相談員	・雇用形態は今のところ安定している様に思われる。
		奥越	学校就職担当者	・雇用情勢も特に目立った動きはない。
		福井	学校就職担当者	・求人数に大きな変化がない。
		福井	ジョブカフェ担当者	・県内の求人数は前月とほぼ横ばい。
		嶺南	ジョブカフェ担当者	・求人数などから見ても、変化は感じられない。
		福井	人材派遣会社	・求人数の動きに変化がない。
		嶺南	就職情報誌	・地デジ以降特需後、メーカーや販売店、協力業者の仕事量が停滞している。
④やや悪くなっている	家計 動向	福井	商店街	・来客数、販売額ともに若干下向き。
		嶺南	商店街	・来客数や単価の動き、客の買上げ点数など、あまり良い状況ではない。
		坂井	小売店	・降雪のため来客数が激減した。
		奥越	小売店	・想像以上の積雪で客足がにぶい。 ・販売量も大きい物品が動かない。
		丹南	百貨店、 ショッピングセンター	・降雪のため、来客数が減少した。
		嶺南	百貨店、 ショッピングセンター	・購買点数が少なくなっており、必需品以外に買われていない。
		奥越	百貨店、 ショッピングセンター	・客の様子からは堅実な生活防衛意識が感じられる。 ・先行きの明るさが見えない状況が続いている。
		福井	スーパー	・客数は増えているものの、単価、買上点数が下がっている。
		丹南	スーパー	・地域内の競合店増加も影響している。
		嶺南	レストラン	・来客数、販売量とも減少傾向が続いている。
		坂井	居酒屋	・来客数が減少している。
		坂井	旅館	・売上高が低迷している。
		嶺南	旅館	・売上金額、来客数ともに減少傾向。
		福井	ビジネスホテル	・例年に比べてスキー客が少ない。 ・今年に入りビジネス客も少ない。
	福井	タクシー	・収入が減っている。	
	企業 動向	坂井	繊維	・取引先の様子がやや悪い。
		奥越	繊維	・ユーロ安と欧州市場の景気悪化の影響により、スポーツ関連の受注が減少し、前年同期比大幅ダウンとなっている。
		丹南	眼鏡	・安価な商品が注目される傾向が高まっており、受注の確保が難しい。
		丹南	眼鏡	・国政の停滞、電機業界の大幅な赤字、消費者の購買意欲の低下など、景気が上向く材料はない。
		坂井	一般機械	・業種により大きな差が出ている。 ・復興需要等により忙しい企業もあるが、その他の企業は業況が悪化している状況である。 ・大手企業や中堅企業は海外移転が加速している。
		嶺南	化学・プラスチック	・受注量が減少している。
		福井	商社	・個人向けガソリンや建設運輸漁業向け、工場向け重油などは、前年割れが続く、油業界は厳しい。
嶺南		医薬品	・健康食品、一般用医薬品について、一段と価格競争が厳しくなっている。	
坂井	IT関連	・受注額が減少している。		

④やや悪くなっている	企業 動向	福井	金融機関	・県内の住宅着工件数は持ち直してはきているが、消費税増税、電気料値上げ議論もあり、先行き不透明な部分も多く消費減退が見られる。
		嶺南	建設業	・年度末に向けて例年なら業務量増になる時期であるが、件数は少なく、価格も低く、全体として低調である。
		福井	不動産	・見込み客数の減少、在庫商品の動きの鈍化が見られる。
		福井	運輸	・荷動きが前年比、および3ヶ月前とは悪くなっている。
		福井	運輸	・小ロットの貨物が多くなり、チャーター使用が少なくなってきた。
⑤悪くなっている	家計 動向	嶺南	商店街	・大雪のため、客数が極端に減った。 ・よほど必要な物を揃えていなければ厳しい。
		福井	小売店	・来客数は減少している。
		奥越	百貨店、 ショッピングセンター	・天候の影響もあり、入店者が少ない。
		嶺南	観光物産店	・雪の影響が大きく、来客数は落ちている。
		福井	割烹	・雪が多く、客が全くといってよいほど来なかった。
		丹南	クリーニング店	・雪の日が多く非常に悪かった。
		企業 動向	丹南	眼鏡
		嶺南	電気機械	・市場動向、受注量、為替状況、欧州経済状況、家電主要メーカーの業績全て悪化傾向にある。

3. 判断理由

(2) 景気の先行き判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
②やや良くなる	家計 動向	坂井	小売店	・春になり、観光客の来場増加が望める。
		奥越	小売店	・リフォーム等の増加が見込まれる。
		福井	百貨店、 ショッピングセンター	・新生活に向けた商品の動きがある。
		奥越	百貨店、 ショッピングセンター	・グリーンジャンボ宝くじの売れゆきが好調。
		福井	スーパー	・新店舗のオープンが予定されており、既存店等の客数も増加が見込める。
		嶺南	スーパー	・東日本大震災から1年経過し影響もほとんど見られなくなっているため、ゴールデンウィークには県外客の増加も期待できる。
		嶺南	コンビニエンスストア	・春に向かい天候も良くなるため、客の動きが活発化することが期待できる。
		嶺南	ドライブイン	・春に向けて県内外からの客の増加が見込まれる。
		丹南	クリーニング店	・春先の衣替えにより、来客や売上が期待できる。
		福井	ビジネスホテル	・昨年は東日本大震災により多数のキャンセルが発生したが、今年は3月を中心にコンサートが毎週あり週末には満室になっている。
		福井	旅行代理店	・来店、見積もり依頼が増えてきており、旅行シーズンに向けてさらに増加が期待できる。
		企業 動向	奥越	電気機械
	丹南		電気機械	・ヨーロッパが金融不安による景気低迷は継続しているが、タイの洪水の影響も薄れてきたこと、為替が安定してきたこと、などから景気は徐々に上向くと見られる。
	嶺南		化学・プラスチック	・繁忙期のシーズンに入る。
	丹南		伝統工芸	・為替も落ち着いてきたので、今後良くなっていくと考えている。
	嶺南		商社	・株価も徐々に回復しており、円安にも動いてきているので、消費者の心理も改善していく。
	福井		金融機関	・株価回復、円安傾向等好材料もあり、全体的な景況感は持ち直しの傾向にあると考える。
	雇用	丹南	自治体労働政策担当課	・一部の業種に生産が戻ってきている状況がある。
		嶺南	労働相談員	・エコカー補助金の復活、東日本大震災からの復興に伴い、新車販売台数が増え、公共投資も、公共工事の請負が増加している。
		福井	学校就職担当者	・エコカー補助金復活により、販売台数は増加していくと思われる。
	③変わらない	家計 動向	丹南	商店街
嶺南			商店街	・震災から1年が経過し徐々に回復してくると思われる。 ・今年は、商店街50周年を迎えるので、イベントや販促企画をして盛り上げたいと考えている。
奥越			小売店	・良くなるとは思えない。
丹南			小売店	・現状維持が精いっぱい。
福井			百貨店、 ショッピングセンター	・個人消費に影響を与える様な要因が見当たらない。
丹南			百貨店、 ショッピングセンター	・良くなる材料がない。
嶺南			百貨店、 ショッピングセンター	・景気が良くなる様な事がない。
丹南			スーパー	・地域情勢も変わらない。
福井			大型小売店	・景気が良くならない。
嶺南			観光物産店	・原発の運転停止により、若狭地方の景気は上向くとは考えにくい。
嶺南			レストラン	・各種の景気指数等にプラス要因が見当たらない。

③変わらない	家計 動向	福井	自動車整備	・エコカー補助金は継続されるものの、4月以降は受注は少なくなる。
		福井	駐車場	・依然として個人消費が伸びない。 ・人の動きが郊外型になっており、人が街中に集まってくる感じがしない。
		坂井	旅館	・回復の兆しがない。
		嶺南	旅館	・2ヶ月先の予約に変化が見られない。
		福井	ビジネスホテル	・外国人観光客や他県からの観光客予約状況の伸びが今一つ悪い。 ・例年に比べ他県からのビジネス利用が少ない。
		福井	旅行代理店	・受注の波はあるが、トータルすると変わらない。
	企業 動向	福井	繊維	・現状のまま4月までは続くと考えられる。
		丹南	眼鏡	・今のところ国産のメガネが売れる兆しが見えない。
		福井	化学・プラスチック	・産業資材は先の見込みが付きにくい、住宅の方は3ヶ月、6ヶ月の期間に回復する見込みはない。
		丹南	鉄鋼	・為替レートに変化が見られない。
		奥越	食料品製造	・消費増加が見込めない。
		嶺南	医薬品	・消費低迷が続くと思われ、改善の見通しは暗い。
		福井	IT関連	・受注量の動きに変化がない。
		福井	不動産	・消費者のマインドが冷え込んでいるように感じる。 ・問い合わせ数や来場数も低調。
雇用	奥越	自治体労働政策担当課	・金融機関から、企業の設備投資について今後半年は期待が持てないとの声を聞いている。	
	福井	労働相談員	・政治状況の安定と、ヨーロッパの経済が安定すれば、今後良くなっていくことが期待できる。	
	福井	ジョブカフェ担当者	・まだしばらくは大きな景気回復につながりそうな予兆を感じない。	
	嶺南	就職情報誌	・今後需要を喚起する要素が見当たらない。	
④やや悪くなる	家計 動向	福井	商店街	・お金が県外にかなり流出しているようであり、県内景気にかかなりの影響を及ぼすことになりつつある。
		奥越	商店街	・政治の混迷により景気回復が期待できない。
		嶺南	商店街	・良くなる要素なし。
		福井	小売店	・新築工事や店舗改築がない。
		坂井	居酒屋	・例年春先は動きがない。
		坂井	観光・レジャー施設	・ギリシャ問題や中国の景気減速などが懸念される。
	企業 動向	坂井	繊維	・円高の影響が懸念材料。
		奥越	繊維	・円高やエネルギー問題など不安な要素が多く、輸出関連の縮小が懸念され、先行きが更に不透明になっている。 ・来年度上期までは厳しい状況が続くそうである。
		坂井	繊維	・5月、6月は春物、夏物生産は終了となる。
		丹南	眼鏡	・社会保障と税の一体改革を早くしないと、国の信用力が一段と下がり、国債の暴落により国家の危機が起こる。
		坂井	一般機械	・円高と欧州の金融危機、中国の消費低下により、日本が世界の渦に巻き込まれ、不安定な状況が続く。
		福井	一般機械	・日本経済が構造転換を図らなければならない時に、推進役が不在。 ・欧米やエマージングマーケットでの優良先は投資意欲が高いが、それだけではボリュームが不足すると予想している。
		福井	一般機械	・当面好材料の不足。
		嶺南	電気機械	・欧州をはじめ、先進国経済の悪化や円高、新興国の成長の鈍化による影響の拡大。 ・新興国市場での対応には価格競争力が大きな要素となり、収益的には厳しい。
福井	商社	・イラン問題で原油は高止まり、ガスも3月より値上げ、個人も企業も節約志向。		

④やや悪くなる	企業 動向	坂井	IT関連	・商談の進捗具合がやや鈍化している。
		福井	金融機関	・自動車販売は増加が顕著であるが、家電等はヒット商品もなく売上を大きく減らしており、消費の回復に至っていない。
		福井	運輸	・円高等による産業空洞化など国内景気の悪化要因は挙げられるものの、国内景気回復の要因は見受けられない。
		福井	運輸	・世界的な不況により先が見えない。
	雇用	嶺南	ジョブカフェ担当者	・嶺南地域は、原子力発電所に関わる方が多いので、今後の動向に左右される。
⑤悪くなる	家計 動向	福井	小売店	・消費税の上昇は売上に直結する。
		福井	割烹	・全体に明るい兆しも見えず不安である。
	企業 動向	丹南	眼鏡	・ナイロン樹脂の製品が出回っており、プラ枠に受注がないので今後悪くなる。
		嶺南	建設業	・日銀がデフレ対策を打ち出したが、市場に金をばらまいても大手企業に吸収され投資にまわるだけで効果はない。 ・必要な政策は内需拡大であり、賃金上昇と消費拡大の政策が必要。

4. 参 考

(1) 調査対象の構成

調査対象		人数
家計動向関連		51
商店街、小売店		
	商店街関係者	5
	小売店経営者・従業員	7
百貨店、SC等		
	店長・売場主任	10
スーパー		
	店長・従業員	6
家電販売店		
	経営者・店長・従業員	2
コンビニエンスストア		
	店長	2
ドライブイン等		
	経営者・スタッフ	3
飲食関連		
	レストラン等経営者・店長・スタッフ	2
	居酒屋等経営者・店長・スタッフ	2
その他サービス関連		
	サービス業経営者・従業員	4
観光関係		
	旅館関係者	2
	ビジネスホテル関係者	2
	観光・レジャー施設関係者	1
	旅行代理店経営者・従業員等	2
	タクシー運転手	1
企業動向関連		36
製造業経営者・従業員		
	繊維工業	4
	眼鏡工業	3
	一般機械工業	3
	電気機械工業	3
	化学・プラスチック工業	3
	鉄鋼業	2
	伝統工芸	2
	商社	2
	食料品製造業	2
	その他製造関連	2
非製造業経営者・従業員		
	IT関連	2
	金融機関	2
	建設・不動産	3
	運輸	3
雇用関連		13
	自治体労働政策担当課	2
	労働相談員	2
	学校就職担当者	4
	ジョブカフェ担当者	2
	人材派遣会社	1
	就職情報誌編集者	2
計		100

4. 参 考

(2) 調査票

あなたの日々の仕事や仕事を通じて接するお客様の様子から分かる、あなたの身の回りの景気の状態についてご回答ください。

(企業・団体名および記入者氏名)

【質問1】

景気が上向きか下向きか、どちらの方向に向かっているかの質問です。
今月のあなたの身の回りの景気は、3か月前と比べて良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなっている ②やや良くなっている ③変わらない
④やや悪くなっている ⑤悪くなっている

【質問2】

質問1でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答

【質問3】

将来の景気についての質問です。今後2～3か月先のあなたの身の回りの景気は、今月より良くなると思いますか、悪くなると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなる ②やや良くなる ③変わらない ④やや悪くなる ⑤悪くなる

【質問4】

質問3でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答

本書の内容についての質問は、下記にお問い合わせください。

福井市大手3丁目17-1

福井県産業労働部政策推進グループ

TEL 0776-20-0364 (ダイヤルイン)